

## 大宮教育の推進にあたって大切にしたいこと



### 本校の目指す教育

学校教育目標

**自ら学び・考え・行動する子どもの育成**  
～人とつながり、未来を創造する子をめざして～

目指す子ども像

大きな心を持つ子  
大きなめあてを持つ子  
みんなで力を合わせる子  
やりとげる子  
とばを大切にする子



- ・「話す」「聞く」ことを基本にした伝え合う力
- ・自分で考え、判断し、実践する力
- ・目標を明確にし、それに向かってやり抜く態度
- ・人間関係力の向上や人権感覚の涵養
- ・規範意識の向上
- ・基本的生活習慣の定着

# 令和6年度学校経営方針

京都市立大宮小学校  
校長 松下 智洋

## 令和6年度「学校教育の重点」

＜京都市の目指す子ども像＞

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

〈京都市の目指す子ども像 3つの姿〉

広い視野と感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる

様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる

多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

『全教職員で進める学校園づくり 5つの柱』

- ① 『いのち』～子どもの命を守りきる～
- ② 『よりそい』～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～
- ③ 『つとめ』～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～
- ④ 『ひろがり』～カリキュラム・マネジメントの視点をもって  
社会に開かれた教育課程を実現する～
- ⑤ 『つながり』～校種間連携・接続により子どもを支える～

重視する視点  
『小学校』

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。

|                                  |                                |                          |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める | 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る | 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------|

## 「生きる力」を育む 15 の取組

- ① 「生きる」力を育む学びに向けた視点
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- ③ 探究活動と体験活動の充実
- ④ グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- ⑤ LD 等支援の必要な子どもの学力向上

[確かな学力]

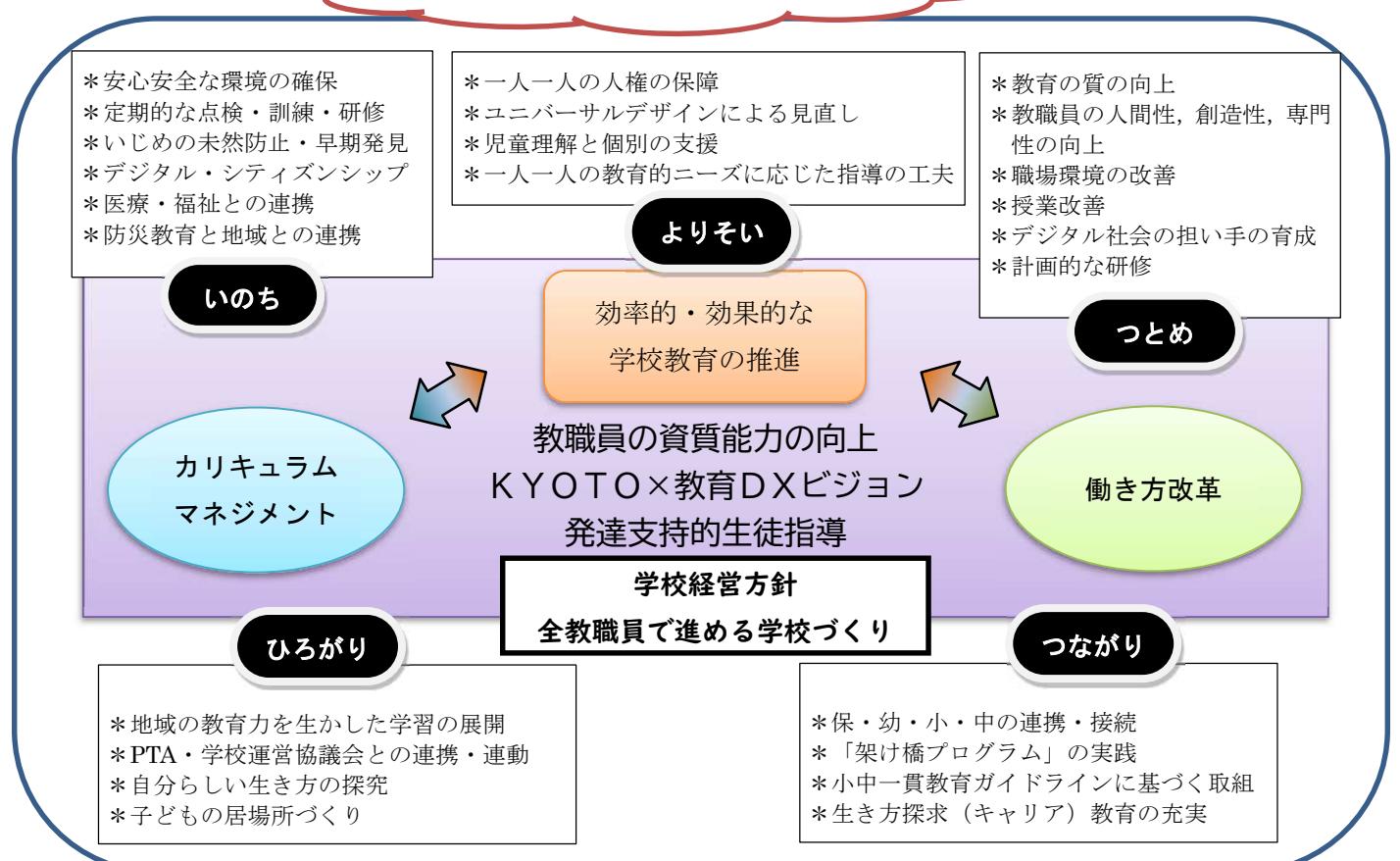
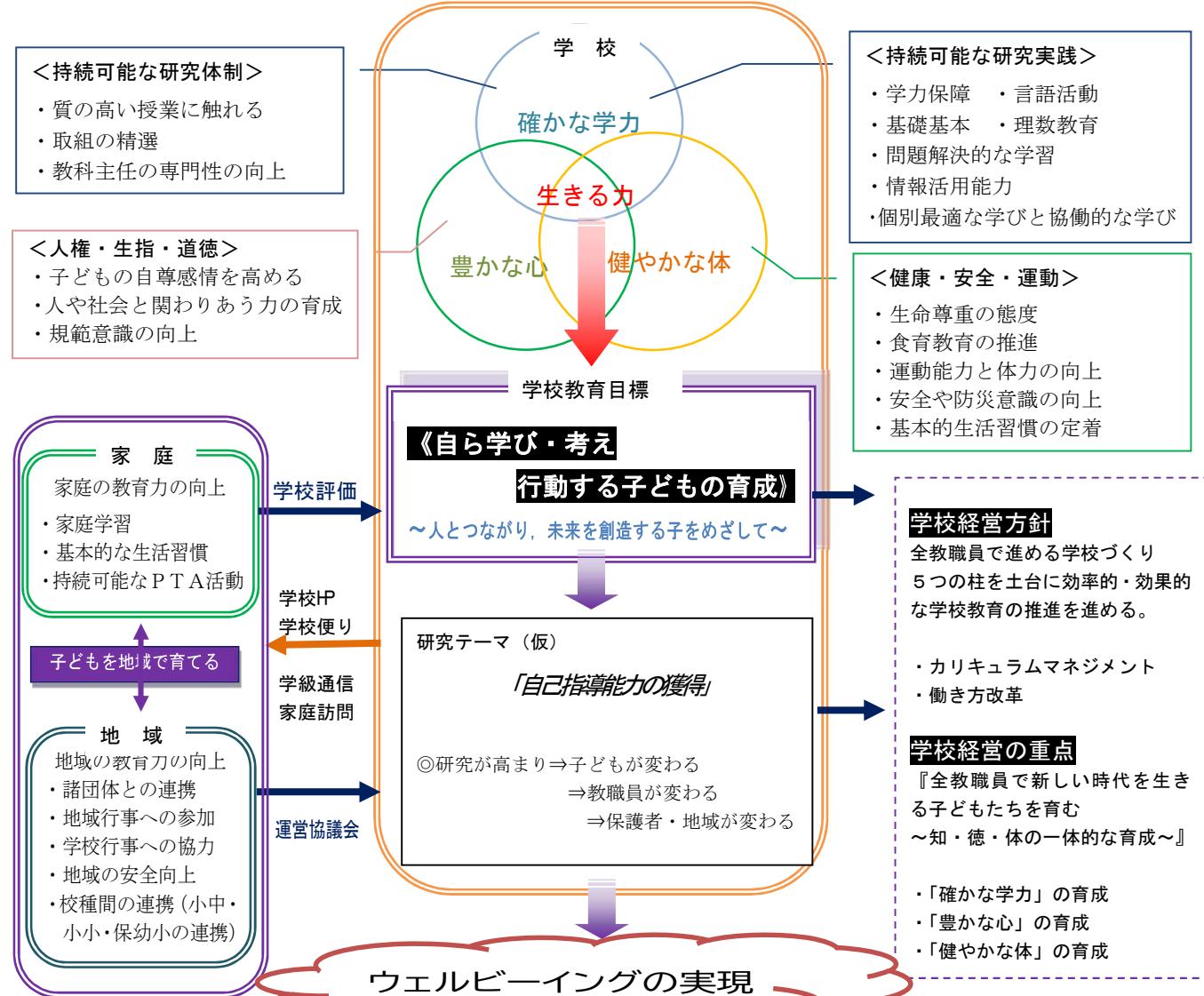
- ⑥ 道徳教育の充実
- ⑦ 伝統文化・芸術や自然体験等を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- ⑧ 規範意識の育成
- ⑨ 多様性を理解する姿勢の涵養
- ⑩ 支え合い高め合う集団作りの推進と絆づくり

豊かな心

- ⑪ 運動やスポーツの実践と体力の向上
- ⑫ 保健教育の充実
- ⑬ 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ⑭ 安全教育の充実
- ⑮ 食に関する指導の推進

健やかな体

## ◆学校教育目標の具現化



## 学校経営の重点

# 全教職員で新しい時代を生きる子どもたちを育む

## ～知・徳・体の一体的な育成～



中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】より抜粋

### 知=「確かな学力」の育成

- ・ 「生きる力」を育む学びに向けた視点
  - ⇒意欲的に学ぶ集団作り=学習活動の基本となる姿勢（学びの約束やルール）
  - ⇒わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業
  - ⇒指導と評価の一体化
  - ⇒教育課程の見直し・充実（1085時間以内での確実な履修）
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
  - ⇒実感を伴った知識・技能の習得→調べ学習・観察・実験・レポートの作成等
  - ⇒基礎的読解力・数学的思考力・情報活用能力等の資質・能力の育成
  - ICT機器等の日常的・積極的・効果的に活用した学習活動の一層の充実
  - ⇒思考力・判断力・表現力の効果的な育成
    - 「言語活動」の発達段階に応じた設定と内容の充実
    - 学習課題に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底等
  - ⇒学校図書館の活用→学習・情報センター、読書センターとしての位置づけ
  - ⇒自学自習の習慣化→自ら課題を選択し、予習・復習に取り組む（ICT・自主学習ノート）
- ・ 探究活動と体験活動の充実
  - ⇒自らの課題や疑問点を調べ、解決しようとする過程が繰り返される探究活動の充実
  - ⇒主体的に取り組める体験的な学習活動の推進
  - ⇒伝統文化教育・環境教育・食育・政治的教養を育む教育等
- ・ グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
  - ⇒言語活動を通してコミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を育成  
(低中学年：聞く・話すこと、高学年：聞く・話すことに加え読む・書くこと)
- ・ LD等支援の必要な子どもの学力向上！
  - ⇒「個別の指導計画」等の活用（行動面だけでなく学力面への支援の充実）
  - ⇒「ひらがな聞き取りテスト」等のアセスメントの実施

## **徳=「豊かな心」の育成**

- ・ 道徳教育の充実
  - ⇒「しなやかな道徳教育」の実践の推進
  - ⇒「道徳教育推進月間」を位置づけ、家庭や地域社会との共通理解、連携を深める
  - ⇒道徳的価値の理解を深める指導の充実⇒情報モラル・SDGs（環境・平和・人権等）
- ・ 伝統文化・芸術や自然体験等を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
  - ⇒茶道体験等を通じて、自らも伝統や文化を受け継ぐ扱い手であることを実感
  - ⇒自然の偉大さや生命との関わりを感じ、考えさせる
- ・ 発達支持的生徒指導の推進と規範意識の育成
  - ⇒あらゆる教育活動を通して発達支持的生徒指導を推進する。
  - あいさつの励行、学習規律の徹底、基本的生活習慣の確立、児童会活動、学校行事等
  - 薬物乱用防止教室、非行防止教室等の実施
  - ⇒ICT活用に当たっての正しい判断力の育成⇒情報モラル・情報セキュリティーの遵守
- ・ 多様性を理解する姿勢の涵養
  - ⇒障害についての理解と認識を深める⇒ユニバーサルデザイン
  - ⇒文化・伝統の多様性を認め、国際協調と平和を維持していく志の涵養
- ・ 支え合い高め合う集団作りの推進と絆づくり
  - ⇒一人一人の子どもの自己指導能力の獲得のために「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安心・安全な風土の醸成」を意識した教育活動の推進
  - ⇒自己実現につなげる指導⇒児童会等、子どもの主体的・自発的な活動を重視
  - ⇒心の居場所づくりに向けた信頼関係・情報共有⇒不登校状態の子どもへの支援
  - ⇒いじめの防止のため、「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を組織的に進める

## **体=「健やかな体」の育成**

- ・ 運動やスポーツの実践と体力の向上
  - ⇒運動に触れる機会を積極的に設ける→体育科・運動部活動・休み時間・放課後等
  - ⇒家庭・地域との連携を図りながら運動能力の維持向上を図る
  - ⇒組織的・計画的な安全管理・健康管理の徹底
- ・ 保健教育の充実
  - ⇒基本的な生活習慣の定着
  - ⇒自分自身の健康を保持・増進しようとする意識と実践的態度
  - ⇒性に関する指導
- ・ 飲酒・喫煙・薬物に関する推進
- ・ 安全教育の充実
  - ⇒「生活安全」「交通安全」「災害安全」の指導
  - ⇒災害や学校内外での事件・事故を想定した対応訓練
- ・ 食に関する指導の推進
  - ⇒伝統的食文化の継承や「地産地消（知産知消）」を推進
  - ⇒食選力と食に関わる人々と食べ物への感謝の心を育てる
  - ⇒食物アレルギー・アナフィラキシーに対する正しい知識に基づいた適切な対応